



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月2日

上場会社名 JUKI株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6440 URL http://www.juki.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清原 晃  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務経理部長 (氏名)鈴木 正彦 (TEL) 042-357-2211  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	23,717	△8.5	2,138	47.0	2,241	169.6	1,527	134.8
28年12月期第1四半期	25,910	△7.9	1,455	△18.9	831	△46.2	650	△36.2

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 935百万円(—%) 28年12月期第1四半期 △943百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	52.13	—
28年12月期第1四半期	21.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	111,258	27,930	24.6
28年12月期	111,365	27,582	24.2

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 27,347百万円 28年12月期 27,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,000	△5.9	3,000	47.9	2,800	361.7	1,800	—	61.44
通期	101,000	3.4	4,800	3.2	3,700	22.4	2,200	16.8	75.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

直近の公表では、第2四半期(累計)は未定としておりましたが、今回、上記のとおりといたしました。なお、通期については変更ありません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期1Q	29,874,179株	28年12月期	29,874,179株
29年12月期1Q	577,397株	28年12月期	577,229株
29年12月期1Q	29,296,896株	28年12月期1Q	29,738,028株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動(主に円/米ドル相場)などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスや工場全体の生産効率を高めるスマート工場などを提案するソリューション営業活動を推進する一方で、取引採算の見直しを含め収益性を重視した販売活動を展開したこともあり、売上高は237億1千7百万円(対前年同期比8.5%減)となりました。

利益面につきましては、売上減少の影響はあったものの、上述の販売施策やコストダウンなどによる利益率改善及び経費削減の効果などにより、営業利益は21億3千8百万円(対前年同期比47.0%増)となりました。また、前第1四半期連結累計期間で大きく発生した外貨建債権の評価替えに伴う為替差損が縮小したことなどから、経常利益は22億4千1百万円(対前年同期比169.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億2千7百万円(対前年同期比134.8%増)となりました。

## (主なセグメント別の概況)

当社は、今後の環境変化に対応し、持続的に高い収益を上げることができる事業構造を構築するため、当第1四半期連結累計期間より経営の枠組みを変更いたしました。これに伴い、従来の「縫製機器事業」「産業装置事業」の2つのセグメントから、システム分野を含めたソリューション展開を強化するため、新たに「縫製機器&システム事業」と「産業機器&システム事業」の2つのセグメントに再編しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

## ① 縫製機器&amp;システム事業

市場別では欧米での売上は堅調であったものの、アジア市場における一部地域での売上が伸び悩んだこと、製品別ではカーシート向けなどノンアパレル分野での売上が拡大したものの、アパレル市場向けの売上が減少したことなどから、縫製機器&システム事業全体の売上高は159億8千9百万円(対前年同期比11.8%減)となりました。利益面においては、上記の販売活動の展開やコストダウン効果などにより収益性が改善したことなどから、セグメント利益(経常損益)は18億1千5百万円(対前年同期比12.9%増)となりました。

## ② 産業機器&amp;システム事業

市場別では最大の市場である中国での売上が堅調であったこと、製品別ではスマートファクトリー提案で展開する省力化装置やカスタマービジネスでのパーツ販売、受託加工等のグループ事業の売上が伸びたことなどから、産業機器&システム事業全体の売上高は前年並みの76億4千4百万円(対前年同期比0.7%減)となりました。利益面においては、利益率の改善やこれまで進めてきた構造改革による費用削減効果が出てきたことなどから、セグメント利益(経常損益)は5億9千3百万円(前年同期は1億5千4百万円の損失)と大きく改善いたしました。今後は売上を拡大することで収益をより一層改善してまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ1億6百万円減少して1,112億5千8百万円となりました。負債は、長期借入金が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ4億5千4百万円減少して833億2千8百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べ3億4千7百万円増加して279億3千万円となりました。これらの結果により、自己資本比率は24.6%となり、前連結会計年度末に比べて0.3ポイント増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の第2四半期連結累計期間業績予想及び配当予想につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,048	9,670
受取手形及び売掛金	30,741	29,034
たな卸資産	37,616	37,484
その他	4,059	4,506
貸倒引当金	△399	△397
流動資産合計	80,066	80,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,890	12,761
土地	6,523	6,445
その他(純額)	4,098	4,072
有形固定資産合計	23,512	23,280
無形固定資産		
投資その他の資産	1,711	1,646
その他	8,025	7,942
貸倒引当金	△1,951	△1,911
投資その他の資産合計	6,074	6,031
固定資産合計	31,298	30,958
資産合計	111,365	111,258
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,972	10,327
短期借入金	43,144	43,058
未払法人税等	409	812
賞与引当金	15	509
その他	7,712	6,713
流動負債合計	61,254	61,421
固定負債		
長期借入金	16,647	16,054
役員退職慰労引当金	69	55
退職給付に係る負債	5,163	5,167
その他	646	629
固定負債合計	22,528	21,906
負債合計	83,782	83,328

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	2,035	2,035
利益剰余金	8,937	9,879
自己株式	△605	△605
株主資本合計	28,412	29,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	839	792
為替換算調整勘定	△2,274	△2,838
退職給付に係る調整累計額	28	40
その他の包括利益累計額合計	△1,406	△2,005
非支配株主持分	576	582
純資産合計	27,582	27,930
負債純資産合計	111,365	111,258

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	25,910	23,717
売上原価	18,062	15,878
売上総利益	7,848	7,838
販売費及び一般管理費	6,392	5,699
営業利益	1,455	2,138
営業外収益		
受取利息	10	20
受取配当金	61	64
為替差益	—	61
貸倒引当金戻入益	66	46
その他	137	182
営業外収益合計	275	374
営業外費用		
支払利息	330	259
為替差損	544	—
その他	24	11
営業外費用合計	899	271
経常利益	831	2,241
特別利益		
固定資産売却益	1	32
特別利益合計	1	32
特別損失		
固定資産除売却損	5	9
その他	—	10
特別損失合計	5	19
税金等調整前四半期純利益	827	2,254
法人税等	269	709
四半期純利益	557	1,544
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△92	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	650	1,527

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	557	1,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△270	△46
為替換算調整勘定	△1,209	△573
退職給付に係る調整額	△20	11
その他の包括利益合計	△1,500	△608
四半期包括利益	△943	935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△831	928
非支配株主に係る四半期包括利益	△111	7



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,131	7,698	25,830	79	25,910	—	25,910
セグメント間の内部 売上高又は振替高	157	117	275	126	401	△401	—
計	18,289	7,816	26,105	206	26,312	△401	25,910
セグメント利益 又は損失(△)	1,607	△154	1,452	4	1,457	△626	831

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△626百万円には、セグメント間取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△612百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,989	7,644	23,634	82	23,717	—	23,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	269	114	384	111	496	△496	—
計	16,259	7,759	24,018	194	24,213	△496	23,717
セグメント利益	1,815	593	2,409	10	2,419	△177	2,241

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。
- 2 セグメント利益の調整額△177百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△170百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より経営の枠組みを見直し組織変更したことに伴い、報告セグメントを従来の「縫製機器事業」「産業装置事業」の2つのセグメントから、「縫製機器&システム事業」と「産業機器&システム事業」の2つのセグメントに再編しております。

「縫製機器&システム事業」は工業用ミシン事業と家庭用ミシン事業からなり、「産業機器&システム事業」は、成長が期待できる受託加工事業等の「グループ事業」、パーツ販売・保守サービス等の「カスタマービジネス事業」及びマウンタなど実装装置の製造販売を担う「産業装置事業」で構成いたします。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。